宗四小　校長だより

令和２年５月２１（木）発行

NO.４

☆めざす学校像「笑顔・感動いっぱい虹色にかがやくみんなの学校」　校長　高柳政行

ホッとするひととき

宗四小の教職員のみなさん、新型コロナウイルス感染防止措置や学びを止めない学習計画の準備、提出物の添削等ご協力ありがとうございます。

また、児童や保護者とのつながりや関わりを持つための電話作戦も順調のようですね。保護者の方からは、「担任の先生から電話をいただきました。子どもも嬉しそうにしていてホッとしました。ありがたいです」と喜びの声を聞くことができました。電話の向こうで、照れながらも先生と話をしている笑顔の子ども達の顔、そして、その様子をほほえましく見ている保護者の姿が目に浮かんできます。

運動の動画配信視聴なんと８８２回（５月２１日現在)。各家庭で何度も見て楽しんだり、運動を実際に取組んだりしてくれているのですね。私も何度も見て楽しんでいます。次回作の準備も進んでいるようです。楽しみです。

５月１５日（金）地域の松下さんや一ノ瀬さんにご協力いただき、５年生を中心とする本校教職員が田植えを実施してくれました。児童が体験できなかったことは残念ですが、今できることを確実に取組んでいくという前向きな姿勢がいいなと思っています。

5 月 12 日サツマ芋苗植え

5 月 12 日あぜづくり

5 月 15 日　田植え作業

長期休業明けの児童への心のサポートについてお願い

これまでも学校の**長期休業明けは、子ども達が不安定になりがち**とされてきました。**今回は、新型コロナウイルスの感染防止措置で異例の長期休業**が続いたあとの登校となります。これまで以上に多くの児童が**学校に行くことをためらう可能性**があると考えます。それは、分散登校初日から登校できないとか、分散登校が始まった週は何とか乗り切ったけれど、次の週から不登校になってしまったなど様々な状況が考えられます。

そこで、登校再開後少しでも早く、短時間でよいので個別に面談を実施してください。

まずは、早急に１対１で話す機会を作ってほしいです。「学校がはじまったけど心配なことはないですか。困ったことがあったら、いつでもお話ししてね。あなたの味方になるからね」などと一人一人の児童に話しかけて児童への心のサポートをお願いしたいと考えます。教室で学級の児童がいる中での個別対応はもちろん大切ですが、今回は、**児童一人（個人）と教員一人（個人）だけの時間を共有してほしい**のです。時間と場所のことを考慮して、廊下で短時間面談を実施するのなら可能です。その際、**児童の様子をよく見て、話さないけれど表情が暗いとか不安を抱えているような仕草はないかなど見取ってください。**心配な児童がいた場合、管理職にも報告ください。必要ならば保護者やスクールカウンセラーとの相談、連携をしていきましょう。

また、「養護の先生、元担任の先生、担外の先生、校長先生、教頭先生など、だれでも相談にのってくれます。直接相談してもいいですよ。」と言うことも伝えてください。学校全体で組織的に一人一人の子ども達を支えていきましょう。

最後になりますが、教育相談日や生活アンケートなどの対応については計画的に実施していければと考えます。よろしくお願いします。